

中学校用

五月の風 — ミカ

## 五月の風——ミカ

カナ、どうしているかな。さつきから、ミカはそればかりが気になって、ユカたちの話が一つも耳に入らない。

ミカは今日、吹奏楽部のメンバーと隣町の楽器店へ小物を買いに来ている。学校では、カナも含めて、駅前待ち合わせる予定だったけれど、昨晚、ラインで直接、楽器店で集まろうということになったのだ。カナは、ラインをしない。いつもは、ラインで知った情報は、ミカがカナに伝えている。カナ、どうしているかな。ずっと気になる。待ち合わせ場所が変わったことをカナは知らない。買い物をしている間、ミカは落ち着かない気持ちで、ちつとも楽しくなかった。

ミカはユカたちとラインをするのが楽しかった。昨日の夜も、いつもの調子でメンバーとラインをしていた。そのうちの一人が急に明日の待ち合わせを楽器店にしようと言い出した。みんな軽い気持ちでオーケーしたけれど、ミカはカナのことを思い出して、カナには伝えておくね、と書き込んだ。

「めんどうだね。ラインしない子は。」

「もう、いいんじゃない。」

一瞬ミカは迷ったが、結局、カナに知らせることはしなかった。

大丈夫だよ。みんなが来なかったらきつと家に帰るはず。

夜、カナからミカの自宅に電話があった。

「今日、何かあったの。どうしてみんな来なかったの。私、場所を間違えたのかなと思ってたんだけど。」

ミカは言葉に詰まった。

「えっ、あっ、待ち合わせ場所が変わったんだ。カナに伝えてなかったっけ。ごめんごめん。」

「そうなの。みんなは楽器店に行ったんだね。残念だなあ、楽しみにしてたんだ。」

ミカは、しどろもどろに言い訳して、あわてて電話を切った。心がドキドキして、カナの心細そうな声が耳から離れない。ミカは、自分の部屋に駆け込んでベッドに潜り込んだ。

今日、カナはどのくらい待っていたんだろう。私がカナにわざと伝えなかった。ラインをしないカナを、みんなが時々うざったく思っているのを知っていた私。今日のことも「いいんじゃない」って言われて、そうかなって思ってしまった私。

「楽しみにしてたんだ」カナの言葉が心の中にずっとこたましている。カナのことだから、ずっと待っていたんだらうな。何で伝えなかったんだらう。私はカナの信頼に応えていない。胸が締め付けられるようになって、涙があふれてきた。ミカはベッドの中で声を抑えて泣いた。

次の日、ミカは重い気分で学校へ向かった。私、なんてことをしたんだらう。地面に転がっている石ころを一つ一つ見ながらミカは歩いた。

ぽんっ。

誰かが、後ろから肩をたたいた。カナだった。

「おはよう、ミカ。私、ラインできなくてごめんね。ミカには迷惑かけちゃうけど、何かあったら、また教えてね。」

ミカはカナの笑顔を見て、のどの奥がキュツとつまった。言わなくちゃ。

「昨日はごめん。カナ。……」

それ以上は、とても言葉にならなかった。ミカの目に映るカナの笑顔がぼんやりにしんでいく。ミカの瞳から一粒の涙がこぼれた。

「ミカ、何泣いてるの。友達だよ、私たち。」

並んで歩く二人の心の中を、五月の風が吹き抜けていった。



- ミカがカナに待ち合わせ場所の変更を伝えなかったのはなぜか。
- ベッドに潜り込んで泣いたミカは、どんなことを考えたか。ミカの考えるカナの信頼とはどのようなものか。
- 次の日、二人は並んで歩きながらどんなことを考えたか。

## 8 中学校用「五月の風——ミカ」 指導例

- ◆ **主題名** 信頼に応える 指導内容 2-(3)  
**資料名** 五月の風——ミカ (奈良県教育委員会)

### ◆ ねらい

スマートフォンを持たないことで部活動のメンバーの中でなんとなく疎外されている友達のことを、ずっと気にしながらも、周囲のメンバーに合わせてしまう主人公の思いについて考えたり話し合ったりすることを通して、友情の尊さを理解し、友達と互いに信頼し合い高め合おうとする態度を育む。

### ◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される生徒の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、「五月の風——カナ」のことを想起する。	○ カナの行動から学んだことはどんなことだったか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めたことをやり通す大切さ。</li> <li>・他者に自分を合わせることなく、うまく付き合うことの難しさ。</li> </ul>	・「五月の風——カナ」に続いて活用することを想定している。同じ出来事をミカの立場から見た資料を取り上げて話し合うことを知らせ、興味を喚起する。	
展  開	2、資料「五月の風——ミカ」を読んで話し合う。	○ ミカがカナに待ち合わせ場所の変更を伝えなかったのはなぜか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいんじゃない」という言葉は、伝えるなという意味だととらえたから。</li> <li>・伝えることで自分も疎外されることをおそれたから。</li> </ul> ○ ベッドに潜り込んで泣いたミカは、どんなことを考えたか。ミカの考えるカナの信頼とはどのようなものか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えてやれなかった自分の弱さやずるさ。</li> <li>・自分を信じて待っていたらカナへの申し訳なさ。</li> <li>・どんなことがあっても裏切らないこと。</li> </ul>	・買い物をしても楽しくなく、自分に大丈夫と言い聞かせる主人公の心の動きを押さえ、ラインでつながるメンバーとの人間関係をうまく保つことと、カナへの友情との間で悩む主人公に共感できるようにする。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・カナがずっと待っていたであろうと想像し、後悔と申し訳なさで一杯になる主人公の思いを考えることを通して、主人公が応えられていないと考えるカナの信頼とはどのようなものかについて話し合わせる。</li> <li>・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</li> </ul>	ワークシート

展		<p>◎ 次の日、二人は並んで歩きながらどんなことを考えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かってもらえてよかった。これからはずっと友達でいたい。</li> <li>・二度と友達を裏切りたくない。</li> <li>・どんなことがあってもこれからは友達の信頼に応えられる強い自分でありたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から声をかけるべきなのに、先に笑顔で話しかけたカナと、その思いを受け止め涙をこぼすミカの姿から、友情の素晴らしさやあこがれを感じられるようにする。</li> </ul>	ワークシート
開	3、自分を振り返る。	<p>○ 自分に対する友達の信頼とはどんなものだと考えるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人にせず、話しかけたり一緒に遊んだりすること。</li> <li>・いざというときに助けること。</li> <li>・嘘をつかないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の友達関係について振り返りながら話し合えるようにし、よりよい友情を育み、心から信頼し合える友達をもとうとする意欲を高めるようにする。</li> </ul>	
終末	4、「私たちの道徳 中学校」を開き、読んだり書き込んだりする。	<p>○ 「私たちの道徳」60、61ページを開きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」を活用したり、指導者の体験を話したりして、友情の尊さに気付かせ、互いに励まし合い高め合う友情を育んでいこうとする意欲を高めるようにする。</li> </ul>	「私たちの道徳」

※「私たちの道徳 中学校」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/detail/1344255.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1344255.htm)

# 道徳ワークシート

名前 ( )

三カの考えるカチの信頼とはどのようなものか。

Blank writing area with horizontal dashed lines for text entry.

次の日、二人は並んで歩きながらどんなことを考えたか。

Blank writing area with horizontal dashed lines for text entry. Includes an illustration of two people walking side-by-side.

